

あい、風通信



応援します、生涯学習 - ふえる知識と仲間の輪

ICC10号

後期主催講座案内



後期の主催講座は、講座10「進化する石狩湾新港～いま、IT(情報通信)産業の現場では」から講座17「ミルクから食と健康を考える」まで、8講座を企画しています。

もっと知りたいと思うことが、各講座に沢山詰まっています。興味を持って受講していただきたいと思えます。いくつかの講座から知りたいと思う内容の一部を以下に紹介します。

講座10 「進化する石狩湾新港～いま、IT産業の現場」では、なぜ、IT産業が石狩湾新港地域なのか？

講座11 「藤村久和さんと学ぶ、北海道開拓とアイヌの人々」では、北海道が開拓されていくとき、アイヌの人々はどんな気持ちで、どのようにかかわっていったのだろうか？

講座12 「知られざる北の国境」では、北方領土問題と日本の課題はなんだろうか？

講座13 と **講座15** の「石狩川～北の大地の母なる大河」では、石狩川の洪水によって石狩の歴史がどのように変わったのか？ 石狩川の治水は、どのように行なわれてきたのか？ 石狩川の舟運の役割は？

講座14 「雪で鍛える～北国ならではの健康法」では、冬を乗り切るための体力づくりはいかにあるべきか？

講座の一端を紹介しましたが、もっと知りたいことが多々あると思えます。後期の講座も楽しいですよ。是非、受講してください。

受講料支払いについてのお願い

いしかり市民カレッジ主催講座のご案内の八ガキに、「万が一キャンセルされる場合、あるいは参加できない回がある場合は、月日までに事務局にご連絡ください。日以降のご連絡の場合は、申し込み回数分の受講料をいただくこととなりますのでご注意ください。」と書かれています。

なぜ、このようなお願いをしているのかは、
講座の全回数を申し込む方に優先権があること。
講師料が毎回かかること。

資料も事前に作成し費用がかかること等からです。
趣旨をお汲み取り頂き、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いします。



ご期待！！「講座・南極大陸～知られざる自然と氷床が伝える古代気候」

南極観測の砕氷艦「しらせ」の寄港に合わせて「市制施行15周年・こども未来館オープン記念事業実行委員会」と共催で特別講座を開催します。講師は2度の南極越冬経験があり今年の11月に再度南極に赴く予定の北海道大学澤柿先生にお願いしました。南極に100万年前から眠る厚い氷(氷床)から過去の気候変動を探る研究や厳しい自然に向き合う基地での生活などについて話されます。なお、この特別講座の受講料は無料ですので奮ってご参加下さい。

日時	9月3日(土)10:00～
会場	花川北コミュニティセンター
講座	第一部「南極氷床から見えてくる地球環境」 第二部「厳しくも美しい南極大陸～基地での生活」
講師	北海道大学大学院地球環境科学研究院助教 澤柿教伸博士



(8月25日現在)
登録者～164人
協力団体～84団体

市民カレッジデータ



ロゴ制作者
丸山英里子さん

いしかり市民カレッジ平成23年度前期を振り返って



平成23年度前期は、9つの主催講座と2つのまちの先生企画講座を開催する予定でスタートしました。主催講座は、7月末までに講座5までが終了しましたが、5講座合わせて受講者は428人(定員440人)で受講率97%でした。まずまずの結果ともいえますが、定員を超えるまでには至らなかったことについては、今後考えてみる必要があります。なお、前期後半や後期には新企画の講座が多く予定されているので期待したいと思います。

一方、まちの先生企画講座は、講座2(自分史)が最少開催人数(12人)に満たない申し込み状況で中止となりました。

この結果については、市民カレッジとしてもPRの方法など反省すべき点があり、せっかくお申し込み頂いた方に対しても大変申し訳なく、おわび致します。しかし、最少開催人数以下では、受講料で維持されている市民カレッジの運営が成り立たないことをご理解頂きますようお願い致します。開催された講座1「舌を鍛える」は受講者77人(定員60人)で128%の受講率でしたが、一般参加が22人(28%)と多いのが主催講座と比べて注目される点です。

市民カレッジとしては、前期後半から後期にかけてさらに講座PRなどに努めていきたいと考えていますので、変わらぬご支援のほどよろしくお願い致します。

まちの先生企画講座3

“アメイジング・グレイスを尺八で”～講師インタビュー～

10月29日から始まる講座について、講師である須貝清伸さん【公益財団法人都山流尺八楽会大師範 須貝颯山(ソウザン)】にインタビューをしました。



質問1 尺八は、「首振り3年ころ8年」といわれるくらい難しいといわれていますが、全くの素人が今回の講座で吹けるようになるのでしょうか。

お答え この講座では、扱いやすい塩ビ管を使うので初心者でも可能です。(アメイジング・グレイスは)但し本当の尺八の音色での演奏が出来るようになるには毎日の練習次第です。札幌市ちえりあでの講座に参加いただいた皆さんはバッチリでした。その中には85歳の方もいらっしゃいました。

質問2 小学校で使うリコーダーなどの吹いた経験が必要でしょうか。

お答え リコーダーは、吹けば誰でも音がでますが、尺八はリードを使わない楽器なので音の出し方は違います。でも第2回目の運指法からは経験があったほうが多少有利です。横笛やフルート演奏の経験がある方は、音を出す上でその経験が助けになると思います。(いろいろなペットボトルをポーと鳴らせる方は100%大丈夫)

質問3 4回くらいの講座で、アメイジング・グレイスまでいけますか。

お答え 受講者皆様の努力次第ですが……充分可能です。

質問4 塩ビ管は自分で作るのでしょか。

お答え 私が作成したものを、500円でご提供します。

第3回連絡協議会の報告



平成23年度連携協議会が6月30日に行われました。連携協議会とは、連携団体(連携講座を開催する団体)と市民カレッジが、連携講座を受けやすいもの(魅力ある講座企画、スムーズなスタンプ押印対応など)にするために話し合いをする場です。協議会では、スタンプ対応の再確認、講座PRチラシの配布による相互協力などが話し合われ、今回同封しました各連携団体の活動が一目でわかる「連携団体活動情報一覧」を作る事が決定されました。この一覧は、各団体への入会の参考にもなりますので、ぜひご活用下さい。また、今後は団体間の共催講座開催も企画して魅力のある講座づくりに取り組んでいくことも協議されました。



いんたびゅう

NPO法人 石狩市文化協会

昨年12月にNPO法人となった石狩市文化協会の山口哲則会長にお話を伺いました。文化協会は、36年前、石狩町の文化発展を願う19団体275名により発足しました。平成8年に市制施行となり、平成17年に厚田村、浜益村との合併で人数も地域も内容も大きくなりました。かねてから組織運営体制の強化が課題となっていましたので話し合いを重ね、昨年12月、特定非営利法人(NPO法人)石狩市文化協会に移行し、現在は構成団体が61団体で900名の会員数です。4月から事務所を石狩市学び交流センターに移転し、鑑賞事業、文化祭、俳句のまちいしかりコンテスト、市役所ロビー展・ロビーコンサートなどの活動をしています。「これからも石狩市の文化発展のためにがんばりたい」と熱く語ってくれました。



NPO法人石狩市文化協会 住所:花川北3条3丁目1番地 石狩市学び交流センター内 FAX:0133-75-1288

資料はシリーズ別に編纂して保存

花川南 谷口 勇 さん

カ
レ
ッ
ジ
生
の
声

2冊目の「学びの記録手帳」のスタンプ数が、後23個で200の節目となるが、この間「石狩歴史散歩」「田中實さんの人物語～歴史再発見」等の受講から、石狩という厳しい自然条件下で、農・漁業に従事した先人達の開拓時代から、今を知る歴史の流れの姿を知る事ができました。特に開講記念講座では「新札幌団地」の旧地名や、待望の第1船入港等で、当地域の社会環境が大きく変貌を遂げた頃の話題を、懐かしく拝聴した次第です。これらの貴重な資料はシリーズ別に4冊のファイルで大切に保存しています。今後も多彩な賢者で構成されたスタッフ集団に感謝しながら受講し、心身の老化防止と健康保持を目指したい。



掲示版



『修了証授与式のお知らせ』

第5回いしかり市民カレッジ修了証授与式を9月30日(金)12時30分より庁舎ロビーで行います。

規定のスタンプが貯まった方は9月10日までに「学びの記録手帳」の巻末にある修了証申請書に必要事項を記入の上、カレッジ事務局(公民館内)に提出して下さい。

『平成23年度更新のお願い』

まだ23年度更新手続きをされていない方は、ぜひお手続き頂きますようお願い申し上げます(該当の方には詳しい手続き方法についてのご案内を同封しています)。

編集雑感

3月11日を境に未曾有の国難が続く日本。高齢化社会で問題山積なのに、大雨や円高や放射能騒動が追い討ちをかけてきて、“頑張ろう日本”の標語が多くなりました。“学ぶ心は希望と元気を与える”と言われていました。あい風通信はささやかですがそのお手伝いを致します。後期講座、楽しいですよ。たくさん受講しましょう。



S・N

発行

いしかり市民カレッジ運営委員会

編集担当: 粕谷保雄、佐々木健雄、中川進、石井滋朗

お問合せ

石狩市公民館

石狩市花川北6条1丁目42

TEL:0133-74-2249 FAX:0133-74-2249

E-mail:kouminkan@city.ishikari.hokkaido.jp

HPアドレス:http://www.ishikari-c-college.com/